

涼感 みやざき



2013 年度事業のご紹介

活動レポート

推進員研修を実施しました！

一歩いっぽ 推進員だより

河野 幸子さん (串間市)

貸出ツールを使って講座を開こう！

イベント情報

助成金情報

エコ用語辞典

ご挨拶

2011年度の我が国の二酸化炭素の総排出量は、1990年の基準年比で3.6%増加の13億7000万トン。2010年度の総排出量と比べると3.9%の増加となっています。この原因は2011年度に起きた東日本大震災で福島原子力発電所が被災したために、原子力発電の点検等による稼働停止に伴い火力発電が急激に増加したためだと言われています。おそらく2012年度も、2011年度と同等もしくはそれ以上の二酸化炭素が排出されると思われ、国レベルの温暖化防止は、まさに待ったなし！の状況です。

これまでの温暖化防止は家庭の省エネを推進していこうということがメインでしたが、家庭の省エネは当たり前、会社や地域で如何にして温暖化防止の意識付けを徹底し、それを具体的な行動に結びつけていくかということが非常に重要な取り組みとなってきます。個人の行動から、みんなの行動へ…宮崎から温暖化防止の動きを加速させていきましょう。

宮崎県地球温暖化防止活動推進センター センター長 石田 達也



2013年度事業のご紹介

その① 宮崎県産材割箸利用促進事業

割箸はすべて環境に良くないものだと思いませんか？県産材割箸は、地域のためにも環境にも実は意義のあるものなんです。本事業は、日南にある製材業者・吉田産業株式会社さんと協力して取り組んでいます。これまで、建築用材を作る際に出る材木の端材は、主に製紙用チップとして扱われてきました。しかし今回、「木として育ったからには、すみずみまで木として使ってあげたい」という吉田社長の思いから、端材にひと手間かけて、オビスギ割箸を作りました。

このオビスギ割箸を使っていただき、①「県産材の価値を見直していただく」こと、さらに使用済み割箸を回収して、木質バイオマス燃料として活用することによるカーボンニュートラル（※エコ用語辞典2）と、県産材を選択して使っていただくことによるウッドマイルズ（※エコ用語辞典3）の観点から②「CO₂の削減」をめざしています。

今年度はモデル事業として、日南市と綾町の小・中学校を中心に実施。学校給食で現在使われているプラスチック箸を10月から1月までの4ヶ月間、オビスギ割箸に替えさせていただきます。オビスギ割箸を子どもたちに使ってもらうことで、「木育」の観点からも、オビスギの良さや特性を知ってもらいたいと思います。

また、今年度はモニターとして、県内のイベントや商店街でオビスギ割箸を無料で使っていただく予定です。モニターは現在募集中ですので、使っていただけるお店等をご存知の方はぜひご一報ください！



その② エコドライブ推進事業

この事業は佐賀県の運送会社「株式会社トワード」が開発した運行管理解析ソフト「ECO-SAM」を用いた事業者向けエコドライブ推進事業です。

県内の運送業者や営業車を持つ一般事業者向けに、2週間程度機器を貸し出し、燃費の改善を図ることで実質的なCO₂削減を目指します。実施内容については、手のひらサイズのGPS ロガーをシガーソケットに装着して走行し、データを解析することで安全運転の度合いを評価するものです。

これは、CO₂排出量の削減を目的としていますが、緩やかな走行による燃費向上、交通事故の撲滅、安全運転のブランド化（企業イメージ向上）等の副次的効果を生みます。

また、燃費消費を少なくする身近な取り組みとして、加速の緩やかな運転と十分な車間距離保持、急発進・急ブレーキをなくす等への意識的な運転が望まれます。

事業者の方々にはぜひ事業参加へのご協力をお願いいたします。



その③ 宮崎県地球温暖化防止活動推進員研修・派遣事業

平成25年度は、宮崎県地球温暖化防止活動推進員の研修を年4回実施。11月には一般参加受付有りの「エコライフ・カフェ」を実施。「目を惹くチラシの作り方」「web 広告戦略」など広報について学びます。

また、推進員を講師として各地に派遣しております。地域で温暖化について学びたいというときは、センターにぜひご相談ください。

その④ 九州エコライフポイント事業

オール九州で取り組む環境行動促進を狙ったマイレージ事業。「①電力検針票の提出、②指定環境イベントへの参加、③省エネ製品の購入」の3本柱で参加していただいた方に行動に応じたポイントを付与します。貯まったポイントは各地の道の駅を中心に県産品との交換を予定しています。ぜひ、ご参加ください。



平成 25 年度 宮崎地球温暖化防止活動推進員 第 1 回研修

7月31日、8月2日、8月6日と3回に渡り「平成25年度宮崎地球温暖化防止活動推進員第1回研修」を実施いたしました。

総勢53名の推進員が研修に参加。

平成25年度に実施する事業の紹介の他、藤元嘉安先生（宮崎大学 教育文化学部 技術教育講座 教授）に「木材利用と地球環境保全」と題して、国産材の活用がどのように環境に影響するのかをお話いただきました。研修に参加した皆さんからは「木・山・森林に関する総合的な学習が出来てよかったです。」といった感想が聞かれました。次回の研修は11月に開催予定です。奮ってご参加ください。



「木材利用と地球環境保全」

宮崎大学 教育文化学部 技術教育講座 教授 藤元 嘉安 氏
地球温暖化を防ぐには、空気中のCO₂を取り除く木材の利用が良いと考えられています。木材はCO₂を吸って炭素を取り込む性質があるほか、加工に必要なエネルギーが少ない省エネ材料だからです。木を切ったら植える、木材を長く大切に使う、国産材をたくさん使うなど、木材利用の原則を守ること、山村や森林の活性化、国土保全や環境保全に繋がっていきます。しかしながら現状は、外材輸入量が増え安い外材との競争を強いられています。木材（国産材）を利用することを通じて、森林と人との共生を推進していくことが大切です。 《講座より内容抜粋》

7月31日（水）宮崎市会場



8月2日（金）都城市会場



8月6日（火）延岡市会場



▲ 卵の殻を活用したキャンドルづくり



▲ キャンドルナイトの様子

一歩いっぽ 推進員だより

河野 幸子 さん（串間市）

『1人の100歩から100人の1歩へ』

串間市の地球温暖化防止活動推進員として活動を始めて10年になります。テレビや新聞から流れてくる砂漠化、気象変動、水質汚染等の報道を目にするたびに、環境問題は他人事ではない、という想いがありました。「まずは出来ることから！」と思い、自分一人で行える事を出来る範囲で活動していましたところ、前任の方にお声をかけていただき、推進員に加入いたしました。

推進員に委嘱されてからは、学校や行政に対して、臆することなくモノが言えるようになったと感じます。また同時に、そういう機関との連携も取りやすくなりました。

7月には10回目となる「キャンドルナイト in くしま」を行政や市民団体と協働で開催しました。このイベントには地元の高中生約70名もボランティアで関わってくれました。キャンドルは、既製品を使用するのではなく排油と卵の殻を使い市民の方と一緒に作成しました。イベントでお出しする飲み物も紙コップではなく、湯飲みで出すなど、些細なことかもしれませんが、一人でも多くの方の「エコゴコロ」に火を灯すことができればと工夫をこらしています。

「1人の100歩から100人の1歩へ」。まずは自分が行動で示し、少しずつでも周りの人の心に響けばと思いながら日々活動しております。



イベント情報

「宮崎県環境フェスタ」

- 日時：平成25年10月6日（日） 10時～15時
- 場所：宮崎県トラック協会
- 内容：
ソーラーカー作成教室/エコクラフト体験/フリーマーケット
トラックによる野菜即売会/飲食ブース
機器を使ったエコドライブ講座/抽選会

助成金情報

平成25年度「4Rアクションサポート事業」の2次募集について

- 宮崎県4R推進協議会は県内の団体で4R活動の推進のために、研修会・講演会や施設見学、モデル事業の実施などを行う方に支援を行っております。
- 申請受付期間：9月6日（金曜）まで
 - 募集概要の詳細については、県のホームページか環境森林部 循環社会推進課 企画・リサイクル担当にお問い合わせください。

貸出ツールを使って 講座を開こう!



宮崎県地球温暖化防止活動推進センターでは、推進員の皆さまはじめ、自治体・団体に対して地球温暖化や対応策を学ぶための様々なツールの貸し出しを行っています。

学習会開催の際、開催先に持参し、参加者の皆さんと手に取ってお使いになることが可能です。

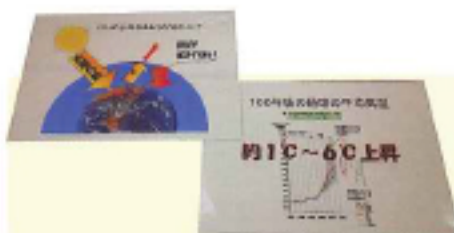
ツールは当センターで保管しておりますので、気になるツールがある場合は、当センターへお問い合わせください。

STOP! おんだんかるた

かるたの標語を実行する事でどれくらいCO₂排出を削減できるかを知ることが出来るカード。表面でかるたとして遊んだあとは、裏返してCO₂排出削減数で競って遊びを深められます。



どうなるパネル



温暖化のそもそもの仕組みや、温暖化が進んだ場合に起こりうる事象を紙芝居としても、個別でも使えるようにラミネートしてある資料集。全部で43枚あります。

地球の食卓 ～学習プラン10～

開発教育協会作成の写真学習ツール。世界の様々な国の1週間分の食料を写真で紹介し、そこから読み取れる事項を皆で共有する学習プラン書付き。



STOP! 温暖化ゲーム



NPO法人環境文明21作成。止まったマスによって手持ちのCO₂カードが増えたり減ったりするすごろくゲーム。すごろくを楽しみながら毎日の生活の中でCO₂を減らす方法を学ぶためのツールです。CO₂排出、取引状況を反映させたすごろくゲームです。

学習会実施までの流れ

「温暖化について詳しく知りたい」「家庭でも取り組める活動を紹介してほしい」といった要望があれば、各地域の推進員に学習会の開催を依頼することが出来ます。皆さんも学習会を開催してみませんか?

1. 学習会の開催申込み

お電話にて申込みを受け付けています。実施予定日の1ヶ月前までにお電話ください。連絡先：0985-74-7075

2. センターから各推進員へ連絡・調整

センター担当者から各推進員へ連絡を取り、日程や内容について調整を行います。

3. 学習会受付確定・実施

学習会申込者へセンターから実施確定の連絡を入れます。当日は、推進員が伺って学習会を実施します。

エコ用語辞典

1 バイオマス発電

有機物を化石燃料の代替として燃焼させ、電気を作るシステムのこと。燃料には木質燃料（建築廃材、整地廃材など）、バイオエタノール（トウモロコシ、サトウキビなど）、バイオガス（生ごみ、家畜の糞尿）など、様々な種類がある。

2 カーボン・ニュートラル

ライフサイクルの中でCO₂の削減と排出がプラスマイナスゼロになる状態。植物の生長によるCO₂の吸収と燃焼による排出が相殺され、絶対量が増加していない状態のことをいう。化石燃料の燃焼に替えたバイオマスエネルギーの利用は、新たにCO₂を排出しないことから、カーボン・ニュートラルと言われる。

3 ウッドマイルズ

木材が運ばれてくる際に排出されるCO₂を削減するために、国産材を利用しようとする運動のこと。食物の輸入輸送時に出るCO₂を削減しようとするフードマイルズ（マイレージ）の概念を木材に宛てて考えられ、森林総合研究所の藤原氏により執筆された小論文「ウッドマイルズ」（木材総輸送距離）と地域材利用住宅で確立された概念。

宮崎県地球温暖化防止活動推進センター通信「涼感みやざき」

発行：宮崎県地球温暖化防止活動推進センター（運営：特定非営利活動法人 宮崎文化本舗）

編集：山内 葵・桑畑 夏生

〒880-0811 宮崎県宮崎市錦町1-10 宮崎グリーンズフィア壱番館（KITEN）3F

TEL：0985-74-7075 FAX：0985-74-7076

URL：<http://www.mc3a.org/>

E-mail：mcccaoffice@mc3a.org